
理想の世界

HERON

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

理想の世界

【著者名】

N4103F

【作者名】

HEROZ

【あらすじ】

俺は今日、極道を辞めた。そこは、俺の理想の世界じゃなかつたからだ。

「足洗うだあ！？ そりやお前、キッチリ落とし前つけてもいひが。
分かつてんだろ？なあ！？」

俺はあれからどうなったのだろう。あまり覚えていない。
分かる事は、腕が一本無いということだけ。まあ、殺されなかつ
ただけマシだろ？。感謝するべきだ。

だが、どうやら誤解だったようだ。昔から極道に憧れていたのに。
物心ついた頃から、俺の憧れる理想の世界だった。
喧嘩してるときも走り回るときも頭の中は極道のことで一杯
だった。

いつか入れるだろ？。そう思いながら俺は生きていた。

だが、そこは俺の理想の世界じゃなかつた。

理想ではなく苦痛。理想をもつていたからなのか。それが更に苦
痛だつた。

ハハッ。今さら何を思おうと自業自得だ。だから、今の俺がいる。

町行く人も俺をジロジロ見てくる。今も、そしてこれからも、
俺を同じ位置で見よとする人などいない。それもまた自業自得だ。
はあ～。これからはこんな事ばかり考えて生きていいくのだろうか。
それなら、いつ死んでしまったほうが楽なのかもしね。これ
からの目標すら見つかる気もしないし。

「一いやー

なんだ。黒猫が俺について来る。まあいい。一時的なものだらう。

「一いやーー！」

中々離れようとしないな。片腕のない俺が珍しいのだろうか。

「一いやーー！」

とうとう家の前まで着いてきやがった……俺は気に入られているのだろうか。だとしたら、この猫は、余程の物好きだな。俺を気に入る人間が現れる事はないだろうと思つていたら猫に気に入られるとは……傑作だ。これも何かの縁か……

「一いやーー！？」

やはり片腕では持ちたくないな。
しかも、野良猫だろうにすごく重たい。ビニール袋を食べていたのだろうか。一度、教えてもらいたいものだ。

さて、急に猫を飼うとなつたもんだから何も用意をしていないぞ。飯も買わないといけないし、猫用のトイレも作らないといけない。名前も付けないといけないな……名前はクロでいいか。あまり凝るのは好みじゃない。

ちょっと待てよ。それ以前に、俺は極道を辞めたんだ。といづことは無職なんじゃないか？

ということは俺にはもう金が入つてこない。つまり、生活が出来ない。

俺の貯金も、ざつと計算しても一年ともたない。

不味いな。生活をするためには仕事を見つけなければならない。
しかし、俺には片腕が無い。こんな男を雇ってくれる会社などあるのだろうか。

改めて考えてみると、やらなければならないことがたくさんある。
やはり、死んだほうが楽か……？ いや、クロを飼うと決めた手
前死ぬわけにはいかない。

頑張つてみるか。目標を立てるごとに少しは気も紛れるかもしれない。

「ニヤー。ニヤー」

今日も元気に暴れまわっているな。いいことだ。
あれから一年か。俺の生活はガラツと変わった。それも全てクロ
のお陰だ。

クロと出会いなければ俺は死んでいた。
仕事もない。これから目標も無い。まるで廃人のようだった。
理想だと思っていた世界を打ち碎かれたんだ。当然か。

だが、クロと出会い、クロは俺に理想の世界を作ってくれた。
俺に仕事をくれた。目標をくれた。死なずにすんだ。ハハッ。天
使のようだ。いや、天使なのかもしれないな。

だから俺は恩返しをしなければならない。

俺は責任をもってクロの最後を見届ける必要がある。

俺はクロの理想の世界を作る。

クロがいつも元気に暴れまわるよう俺は努力する。

最後の最後までそうしてやる。当然、最後も俺は側にいる。笑顔で送り出してやりたいからな。

「一ヤー！！」

分かった分かった。今すぐ飯をやるからちょっと待て。
まったく、一年前のあの時じゃ考えられなかつたな。毎日が楽し
いと思えるなんて……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4103f/>

理想の世界

2010年10月31日04時57分発行